

担 当	秋田 佳津	観察領域	笹川 笹の滝
観 察 日	平成 19 年 8 月 5 日	観察場所	十津川

タイトル		川の流れは
観察経緯及び記録	心を捉えた現象	深い深い緑、木漏れ日、風の色、笹の滝に向かう林道は、溪谷の連続そして何よりも、川の水流る音。急流あり、穏やかな流れもある、そして又激流。川幅の広いところ、白波のたつ瀬場。そして笹の滝。水しぶきと水流る音。 幕末の志士、国学者の伴林光平の歌碑をみつけます。 世にしらぬ あわれをこめて しぐるらん 小笹の滝の 在明の月 音楽と美景と短歌が、私の心を捉え、揺さぶる。
	見えてきたこと	川の水流る音。 昔、母の胎内で聞いていた音だともいう。 心地よく感じる自然のリズムは、おおむね強いものはゆったりと、弱いものは早いリズムで発生するそうです。 それらの周期や振動には共通した法則があり、この法則性が、「1 / f ゆらぎ」 脳がリラックスし、α波があらわれるそうです。 自然の中でよく発生しているそうです。
写 真 または スケッチ		